

JST プロジェクトデータベース 利用規約

第1条（目的）

本サービスは、国立研究開発法人科学技術振興機構（以下、「JST」という。）が推進する競争的資金制度による研究課題等をデータベース化し、インターネット上で検索・閲覧可能とすることで、研究成果公開の迅速性及び利用者の利便性向上を目的とするものである。

第2条（定義）

本規約において、次の各号に掲げる用語の意義は、当該各号に定めるところによる。

(1)「JSTプロジェクトデータベース」（以下、「本データベース」という。）とは、JSTの採択課題の情報（以下、「課題情報」という。）や研究成果情報を検索・閲覧するシステムをいう。

(2)「データベース利用者」とは、本規約に同意し、本データベースを利用して課題情報や研究成果情報を検索し、閲覧する者をいう。

第3条（著作権）

1. 本データベースで提供される画面表示、学術情報のインデックス、リンク等に係わるデータベース著作権及びその他本データベースに関する著作物（本規約及び本データベースのユーザガイド等を含む。）は、JSTに帰属する。
2. 本データベースには、JSTに対するライセンス付与者が権利を有するソフトウェアが含まれる。
3. 本データベースは、データベース利用者に対し、本規約に従い、非独占的に使用許諾されるものであり、本データベース及びこれを構成し又は関連するソフトウェアの著作権を譲渡するものではない。

第4条（使用許諾）

1. データベース利用者は、本データベースの利用を開始した時点で本規約に同意したものとみなす。
2. JSTは、データベース利用者に対し、次の各号に掲げる事項に関し、本データベースの非独占的かつ無償の使用を許諾する。
 - (1)本データベースの対象機器（ユーザガイドに規定する環境条件に適合するコンピュータをいう）上での使用
 - (2) データベース利用者の個人又は法人組織内での使用目的による、本データベースのユーザガイドの複製

第5条（禁止事項）

データベース利用者は次に掲げる行為を行ってはならない。

- (1)本データベース及び本データベースに登録されている情報の全部又は一部の転載、複製、頒布、譲渡、貸与、編集、加工、公衆送信（自動公衆送信が可能な状態に置く行為を含む。）、翻訳、翻案、利用許諾、再利用等、第3条で定める著作権を侵害する行為。
- (2)本データベースの改変並びに逆コンパイル又は逆アセンブル等の行為。
- (3)不正アクセス行為、不正アクセスを試みる行為及び本データベースに過度な負荷をかける行為。
- (4)本データベースに登録されている情報を利用した、研究者又は研究機関に対する誹謗、中傷又は脅迫等の行為。
- (5)本データベースに登録されている情報を、機械的及びそれに準じた手段等を用いて検索又は大量ダウンロードする行為。
- (6)本データベースに登録されている情報を利用又は提供することにより収入を得る行為。
- (7)その他 JST が不適切と判断する行為。

第6条（利用の停止）

1. JST は、次の各号に掲げる事項に該当すると認めた場合、事前に通知し、当該データベース利用者による本データベースの利用を停止又は制限することができる。ただし緊急を要する場合は、利用者に事前通知することなく本データベースの利用を停止又は制限することができる。
 - (1) 本規約及び本規約の目的に反した本データベースの利用又は本データベースで JST が提供する情報（全部又は一部）の利用
 - (2) ウイルス等に感染したファイルの送信
 - (3) 本データベースに対する不正アクセス
 - (4) その他、本データベースの運営、管理において支障を及ぼした場合、又は、及ぼすおそれがある場合
2. 前項の措置に対して、当該データベース利用者は、異議を述べることができない。
3. JST は、本データベースの利用の停止、制限又は終了に起因又は関連してデータベース利用者が発生した損害、損失、障害、費用等について、一切の責任を負わないものとする。

第7条（システムの運用制限及び免責）

1. JSTは、本データベースの維持、補修の必要があるとき、事故の発生その他の事由が発生したとき、その他理由のいかなを問わず、データベース利用者への予告を行うことなく、本データベースの運用の停止、休止又は中断を行うことができる。
2. JSTは、本データベースで提供する情報について追加、修正、削除等の必要があるとき、データベース利用者への予告を行うことなく、情報の追加、修正、削除等を行うことができる。
3. JSTは、本データベースの中断、停止、又は提供情報の追加、修正、削除等によりデータベース利用者が発生した紛争・損害等について、一切の責任を負わないものとする。
4. JSTは、データベース利用者が本データベースを利用したことにより発生したデータベース利用者の損害及びデータベース利用者が第三者に与えた障害については、一切の責任を負わないものとする。
5. データベース利用者は、本データベースの利用により第三者（学術情報の著作権者及び他の利害関係者を含む。）との間で紛争等が発生した場合、自己の責任で解決するものとし、JSTは一切の責任を負わないものとする。
6. JSTは、本データベースで提供する情報の正確性、最新性等を維持するために最大限の努力を払うが、必ずしもそれらを保証するものではなく、それによりデータベース利用者が発生した紛争・損害等について、一切の責任を負わないものとする。

第8条（変更）

1. JSTは、任意に本データベースの改訂を行うことができる。本規約の条項は改訂した本データベースにおいても適用する。
2. JSTは、必要があると認めるときは、データベース利用者に対する事前の通知を行うことなく、本規約の条項を変更し、又は新たな条項を追加することができる。
3. 前項による本規約の変更後にデータベース利用者が本データベースの使用を継続するときは、データベース利用者は、変更又は追加後の条項を含め、本規約に同意したものとみなす。

第9条（アクセスログの取得及び利用）

1. JSTは、データベース利用者が本データベースに接続した際の端末IPアドレス、アクセス情報等（以下「アクセスログ」という。）をサーバに記録するものとする。なお、当該記録は、本データベースの適切な運用のために必要となる処理及び利用動向の調査を目的としたアクセスログ等の解析のために利用するものとし、それ以外の目的で利用しないものとする。
2. JSTは、本データベースの利用状況の分析、研究、本データベースの改良等を行うため、前項に定めるアクセスログを利用し、又は、JSTが指定する総合システムの開発又は本サービスの運営に関わる第三者に提供することができる。

第10条（Google Analyticsの利用）

1. JSTは、前条に定める目的及びサービス向上のため、本データベースにおいてGoogle社が提供するWebアクセス解析ツール（以下「Google Analytics」という。）を利用するものとし、データベース利用者はこれに同意する。
2. 前項によりGoogle社がデータベース利用者のCookieを取得する場合において、当該Cookieを利用動向を目的としたアクセスログ等の解析及びサービス向上のためにのみ利用するものとし、それ以外の目的で利用しないものとする。
3. データベース利用者は、本データベースの利用により、前項に定めるCookieの使用につき許可を与えたものとみなす。
4. Google Analyticsの利用により収集された情報は、Google社のプライバシーポリシーに基づいて管理されるものとする。なお、Google Analyticsの利用によって発生した損害について、JSTは一切の責任を負わないものとする。
5. Google Analyticsの利用に係るアクセス情報の取得及び利用方法については、Google社が定めるGoogle Analyticsサービス利用規約及びGoogleプライバシーポリシーに従うものとする。

Google アナリティクス サービス利用規約

<http://www.google.com/intl/ja/analytics/tos.html>

Google プライバシーポリシー

<http://www.google.com/intl/ja/policies/privacy/>

第11条（損害賠償）

データベース利用者が本規約に違反して、JST又は第三者に損害を与えた場合、JSTは、当該利用者に対し損害賠償を請求することができるものとする。

第12条（準拠法及び管轄裁判所）

本規約は日本法に準拠し、同法に基づき解釈される。また、本データベースの利用に関する紛争は、東京地方裁判所を第一審の専属的合意管轄裁判所とする。

附則（H27科振知情第169-1号）

本規約は、平成27年9月30日から施行する。